詠史歌集

全

へ利4
463

へ4
463

門へ利4
附巻 463

長澤伴雄お人編輯

詠史歌集 初編

絡石舎社中藏

紀のとはひと長澤のぬしきまりみやこれ撰
やとりまちくをちこち人はよめるこゝろをもとゝ
あつめ撰ひこゝめて鴨川集となりんなつけられ事
そはまそこ板まゝわくよまほとこれ事
大かゝれ人のしらさるものあわこれ其その中
よりいましへはひとのうゐなほあもうしまもあけ
ちらひよめるまのみぬまくくことにはかくしとちと

東京學校圖書
利 463
明治廿七年八月十八日 ダメイヅ 兵寄贈

大御代の志るしなるむかしさてのれ竟あ
集のまゝしはあれうちに人れうへをあもや
つゝひなとせられさるちやうれ遠と史を分つ
なりけれとおもておもへさくそれ人のうへを
れこゝよみたらんを詠史といふ無もなてこそ
あらんとくやそぬこれまをけられるなも
又それよみひとのこゝろもれのくことれるものなれは

えらひぬしのこゝろまゝなれまにしもあらき
めれと詞のめくさきハミまとりへられたれは
たゞ詠志くみるへしとそさてこのふみれなまるのち
おのれはあまくまれ一云くたへくよとそれけまと年比
こゝろふみ川よのこひくりをもて和哥の浦にはあり
まちくおことそあらねは何とか毋いそんとていなひ
しうとをわくひそりにまゝまをくしもくつを

さくまとやしとれ中にひろひいれらりとくまわ
まきおしくるまを見きくそくのうちるこり
のうれ世うこれくてまてつる事のまをされ
うらたしまゆりしてうきはもやつ

嘉永五年八月十五日

洛西隠士飄々齋

彩鉾陳人行納書

大むす

詠史の歌とく世に見えうめたるは天慶六年に日本
紀の竟宴をはなりたまひしとき分史とて題を
ゆまはたつまくよまをそれたるそはしゑんなるそれ
より後のまふとしにしをかく見えたり其ゾ
もはら詩に詠史といふてのちにはなりひく文章（モンシヤウ）の生
なとの物これをのまはひより寄せたりそれ
しなめまと学問（カクモン）のためにはいとよきまはなり

なりそれよりなかごろにいたりて近きころハ事も
らるゝばかりよみて、さる歌よみのこゝろ見えて
さらんするをひろむあはれなるかくなりけり
なりけるに、さかりこの集なりて　神のみ御名
天皇の御上よりたやすくかれる古人もまた事の蹟
におきてハ何されて沙汰せられたるおほくひとつよれ
うちれて、ひかりかしこく罪みそしといひはる
かくれなき作者のほえれきこえたりけるれの溪さえ

こゝろ知られてよそれたちより古學をも擁立
かくしたりけるを、かくなん月花よむつかしく諷詠いう
なりけることなき調をいたくて章をとりもむるかな
れりてなくひとしなみよいふべきはなくてひさしくたち
むまつりなまこゝのこゝろ世にいはるゝ類題なるかな
の中かそれ月花となつし列にはなれてたるに
あはれをいふなかりて、なかんくこゝろ覚ゆれ。予のえ
らべる鴨河集。既に四郎にかよひなんとはべるに。

詠史の歌とてもて一首も収(イレ)はかしハかゝれ志(コロサシ)のあ
ゆるによりぬるくなり。いまこの巻なるもてこれ集れ
料(レウ)をとゝかきおくをたるまゝそのほかをもやや
く耳の底にかゝまれるなるやくれやとおもひい
てたるとしまことにかくハもれしゆゑなり

一 文臣武臣のはいくをもつこゝにかたし。また
上古(カミツヨ)のはまゝ見るに。文臣といふて王辰爾王仁なと
の如くこれくに帰化(マヰコミ)儒者とりに自然(オノツカラ)かきりなる
やうなれとも。大寶よりこれくの人々を令れ制(サタメ)
にしたがひ。文官を文臣とし。武官を帯(オヒ)なる
ゝ公卿殿上人をいへとも。みれ武臣の列に出をり。
さらく天慶承平のころよりこゝなれ武家といふ
名目いくたるのちゝ。武官を帯(オヒ)たりとも公卿殿
上人のきたくこれ文臣の列(十三)に出をり

一 位署姓名の記しはまゝきたるやうなるとなれとも
なれとはりく一定(サタガ)なるに。まゝ受領(スレヤウ)のきはれ。

姓某氏某と記したるなとありけるまで大日本史
に将軍家臣といふ列に収られたる徒なり其余は
朝臣宿禰にやうに記を注

一朝臣宿禰を身に心き氏に着たる加婆禰なれ
ば中古よりこれなた姓朝臣名朝臣なといふ定
もありて今の世たゝ稱号めきたるのみにして
用ゐきたれるはまれ也いまはその例なき
ものゝ記しつ

一孝子義烈女臣叛臣なきに類をもちたれば
漢めいたるものはにてはなれば初学の徒の見やすく
からむたるかしとてはなり故實もきまへたる
人にいふにもあらはかくこの集は稿なりたる
のもに見きくるるいはゆはなれば其まゝ
二篇三篇にはまゝてしこる

嘉永五年十一月　長澤伴雄

鴨河集附録詠史歌上

神祇

荷田宿祢春満

本居宣長

本居大平

栗田土満

土岐光秋

岡本道男

伊勢

宣長

加藤千蔭

長田鶴夫

伴信友

大神宮

度會宮

日前宮

國懸宮

平松英棟

山田百枝

本居内遠

三井高匡

鈴木古式

玉ほこの道をしたしくもらしてあふ頃神乃まもりの御あたふかし

大平

名草濱宮

大御神もとめ来ましてほこらしをあくさの濱の御居たふとし

釋契沖

熊野

三熊野やこゝろ御こゝろ御さゝれ御こゝろ御村乃神不知法りぬ

出雲宿祢尊孫

住吉

松風りし御うちなし御浪乃音といくよかきゝつ住よしの神

春満

よろ川よに松乃ちとなり此家をへて君をなまもれしみよしの神

契沖

みつ川まの久しき代よりの住よしの乃よしやうくみて神やしめけん

笠因清雄

波の御かぜ松ふく風もしつ川かぜてちよかてことん不しみよしの御せ

伊達千廣

志かよとちよかしゝのまゝ公をしはしの神もうけくる松風をぬく

冨士谷成章

松尾

ちはやぬる大山くひ乃神をまもりしまつりけらし松乃とのまゝ

宣長

梅宮

春こかしの御面と植る梅の宮さかむ名まもれ神乃まにし

伊藤常足

日吉祭

[illegible]

貴船

[illegible]

竜田

[illegible]

布留

[illegible]

三輪

[illegible]

大沼教寛

[illegible]

関岡野洲良

[illegible]

千蔭

[illegible]

多羅尾氏比呂

[illegible]

契沖

[illegible]

鹿嶋

[illegible]

千蔭

[illegible]

契沖

[illegible]

丹生

[illegible]

本居宣長古事記の傳の竟宴う

神直日神を

[illegible]

村田春海

同しをり志那都比古神を

[illegible]

土譽

[illegible]

同しをり須佐之男神を　小澤蘆菴

和宮まゐらせ八重の花乃志れへをよいのるもひさしきをの神

同しをり事代主神を　千蔭

あしふの花まさりあはくに代に神乃清尾前清らくまつらん

少彦名神　田中芳樹

日の花もかゝふのつとてかへつとし神乃松これそくをしのかみくをれ

大國主神　薗部千尋

とこしへにかくれいまして夜にかゝえ給ふみこそ志し須神をこの神

嘉納安平

八千ほこの神のおもをれ袋にあ居さいさをやこめらるひらん

杵築宮　尊孫

天の下清くわかゝめし大神につくへまはるもおふけなれるや

島重胤

八重たゝ川出ゆきの子等うぬとゐをきの万代かけてまゐらまちん

祇園　蘆菴

其所のをの神のみやきにひらきませ人をまとへるぬるの中を

西田秋實

拔田彦神

皇孫乃あもりかしてみまゐむかふ神とも神をしてとひらん

馬田永親

志らへをしこの神なくハ神もよに天くてりてもあやなとちん

天宇受賣神

秋實

木花開耶姫

千蔭

釜山

宣長

長澤伴雄

桐林廣滋

齋宮

内遠

香椎

井上美稲

石清水

氏北呂

白井信胤

伴蒿蹊

山崎なれ離宮八幡宮ふて　宣長

はくしよあるこのれき身して大君れちかさ身まりやいかれ御ふ弟

竹生嶋　氏純

近江の海沖の小島れ御ふ弟をいふぬほとそふなしそふかれしさ

白山　釋弗陰

しらふ山れふもやこの川のきまのけくおれしおりれとそめるひめ弟

藤白　宣長

弟さひしかしかれ君れハこくあなれ山口しるれふらしろ乃まも

まもれたく思うちと勢をあひおひの相りかたくる夜白乃弟

前田如尚

金御嶽　賀茂真淵

よれ中ふなふをむさゆるこもれしかふれたゆれ弟そしれらん

北野　契沖

かへる居むうしうらやむ弟さひやいあもふ御ふ弟にいやはしむらん

ちとやぬる弟りにいふ須きいうかして一よくちよれあふをあうるし

成章

詠史　小津守良

とれ御ふ矣れさうしあことそ身にうへるたゆしにひかん天乃かとゆみ

森本菅彦

和とれ之れ庭のこうよひち弟さうハ和乃ゆきくもやきうらあしを

菊地袖子

天ぐりとふ神と志めせハ玉くしけ明くまひしきこうれをかしや

清水濱臣

信保路より里ぬわくれ雨と見し夢のさうむれは神乃なみそこ名あり

猿渡容盛

探湯れむうし乃河やとゆふ女きれかなてせ志のふ河ゆうし此国

和田重雄

河ゝしき其その人なくハ墨なるれうけくもをしき命なくなし

千廣

天の下てゝ須知るれ法ひかもとしてんうなるこんふれ法るれ

茅停れ海ゆなるれよりわるれ樟や八十ゆうれ日れみふ〇なりれん

萩原廣道

いかるかやとみのを川の下にくりなられてせ母ぬとしぬこ名理

菊洲ひそめれ川やきめされ神のをしへぬ君を法くへし

岡田清

海りこゆれ庭ゆさけし雪よりきをくつしせめくるゆなるらん

小野務

もれとにあらゝ母ゆるる法代なれハこゝ須もおのうえとうへきん

臼井貞幹

世の中を墨れ衣りけゝ母ハさゝれもふれきしみよりゆの山

白井治堅

[illegible]

神野易興

天津ちをかへ須さやちとなるにそりよしぬるのおくの扉のいふきまて

伴雄

和歌の浦にそきふ津むしまよしのひかくれし庭のいぬさゝをり

内遠

[illegible]

務

[illegible]

芳樹

[illegible]

保元物語とよみそるとれ

治堅

なるれてれ世あも狭をぬらせとれあくらしもれをしら川乃れ

務

よいらしにたく一よせとうの浪をなやうゆれさぬうれ川も

永親

いら浪のよれのいさめにあるをあへさぬさのしるに月ハ入うしを

伴雄

浪の[illegible]の田面の秋の[illegible]

平家物語をよみられをり　出雲宿祢尊澄

すさひあ母程風ふく原にうへしよりと紀のもゆきみくれはれんけん　安田長穂

大御代乃ゆひられ書を行しかれ風ふくもらにひかへけん　青木永章

やうけれ此書れ母もわやみさうられ法るれをかりきをとめ返けん　伴雄

和ゝ者ゝ此書此を海士乃をしへきれゆふりを波の底に入らしを　石川依平

八しゆ母ゆ母の法りしのおわひるなとうらつゝれまりしけん

野崎附

たきゝこれ母くゝ心の風乃ゆるにあへれこてゝ心のゆえをさめをり　よしき

もれゝ母乃とわ母を紀法るうをれてきゝ心を海ゆも入りし君うれ　伴雄

兼久記よみられ紀

志けめんとおけしゆゝ志く浪風をよわて法へよおきの紀り　務

おもひきやうこう大君れ大法紀八十年かけくこれいてんやうを　岩下貞融

詠史

此川の海ひるう小年をいつせいふ自やいつ川母乃かゝんなるけん

芳樹

非風も嬉きたらハ須ぬもみちゝれちしゆゑ波乃色やかへまし

打它守宗

天つ日れ光さへしうれ雲をしきしきたらふ見えれ山のせ

務

おきれうゝ乃あられ浪のせ今ゝ雲ハれうへし清き毎と乃山

静間三積

比ゝれ山こゝろ不こゝ光したるよりやちるに志さく松をおひたん

伴雄

清たかまれさん出乃きぬ乃和りなみと聖ゆゑ種志れしかれ

清こゝ紛不志ましし聖名生れ荒山もこゝやこゝなりしぬ河さつ出非ハ

小島保成

風まし程面乃嬉ゝ程不笠玉山さしてゆくかゝ河ふゝをあらん

残櫻記をかきをへ出れとれ

信友

よし聖山花乃なゝあれ木あをなれさあ河へぬ人もまゝりあ

詠史

近田八束

天地も河あゝくてあし梶山乃志もかあゝをむしなあれ

道男

下聖や非れめくみゝ嬉ゝら山嬉ゝひゝらくちゝれ古れ

永章

皇親

白檮原宮　神武

磐余若櫻宮　神功

軽島明宮　應神

難波高津宮　仁徳

近江大津宮　天智

後大津宮　大友

明日香淨見原宮　天武

鈴木高鞆

あるべしのなし聖の山よかれまむとらハかしこき神とあらはや

藤原宮 持統　平塚飄齋

神なから清きこ清きいをとこもらしつ飛ぎれ岡乃雅のそふりに

乃樂宮 元明　務

かゝる衣きなられ山のをみれへしいまこそよみまさかりくるまと

平安宮 桓武　伴雄

百川のなかれりそひて山のへ乃御井の清れ世にいてなり

亨子院　務

天ゝ世にあふかさあをきて長月もなかれもられよ紙人やめつらん

醍醐院

ゑあまとしらぬ人にせなられ冬のよにぬきし衣のうらのさんを

後三條院

天ゝほとゝもなくて入ぬるゆふ月よのこりおかりれ天ゝもあるな

鳥羽院

鳥羽田をまたにのこれいひせ白川の水をせたやく世とあらしつれ

崇德院　桂有彰

行くなくもかひ和うの先に栗須ちとり知りかへる浪しあらはれ

務

水くきれ河かしも知りゆれさねたくふりせなれ立てのへりせん

安徳帝　後藤夷守

長門の海和布刈乃志ほ[illegible]ハ浪乃底ニハ天いらくしや

安徳天皇六百五十年の御忌赤間関の阿弥陀寺にてこり行ひ[illegible]　芳樹

うき[illegible]の[illegible]もむさ[illegible]しや志の[illegible]文字[illegible]

土御門院　務

土佐の海人や[illegible]ならぬ[illegible]して[illegible]をかれ[illegible]

亀山院　伴雄

かゝ[illegible]

後醍醐院　芳樹

笹[illegible]

前御供屋坊信覚

[illegible]

芳野の吉水院にて　夏目甕麿

[illegible]

中河長延

[illegible]

塔尾の山陵にて　千廣

[illegible]

水崎久道

ひさをわて神のやうけむ信れゝをの伴山乃さわらつちにちると

伴雄

こけれ寄かゝて神の人も松にのしらかもこゝし身のそ川りるかる

藤井高尚

五瀬命

かつ山の苦れ下よつとも川寄やうらもしなりさのなりけるらん

福井芳秀

日本武尊

なるなんられみつく試かもの乃ゑつやめ八九ろさゑなれうさぬる

秋實

をとめ子のかもにねみひしさかてつさう人も其者ともかもあしける

本居豐穎

ちんまそのかゝみかきゝしひかゝるなかふみところの下ゆかれひろん

中言林

忍熊王

菟餘始ゆてちらかもしくも鵜ま川なりまさハまつしなよし

務

菟道太子

さゝうそそさらにをとゆ川をけゆかれもなる山吹まのかれ

尊澄

上宮太子

ゆめきのみ入るぬやえるそうこゆやふうけき乃人をゑよせせしかれ

完戸真徴

舎人親王

大かとの人もうけの中天の歌ゑをそねたのもそ葉をもえらん

信古

ちよろづのかはらぬみよの雲の名をこゝろにかけやおふぎをかん

惟喬親王　　契沖

秋とくにあらぬ姫たる乃多の名にかくのこゝろにかはらの しらゆき

山水をえてきむ就きのおらへき雲ゐのおらやおもひきてかん

貞純親王　　光秋

きゝ忘れつくなかれるゝ桃そのて清池乃水をみかもとふして

前中書王　　努

やよや君これをかしき紙うちむるよこれもうきよれさうにそ見る

大塔宮　　千廣

ひとたひハ日枝乃山風ぬきおちてうれよれ花もちらひしものを

伴雄

をわにあへハ帆れそのふ風にうへ里よになれ和くる日えれ山ゐ物

永章

世ハなへて行の園生れ下風ふなしかんもれを清越ゆきえ須ま

道幸敦定

のゝ積えてくふ雲れとやおもひかん身をひそ先清るれり文筆

飄齋

清ちむ石乃河和あさ無しくひそみかり雲ゐかからふ竜の身にして

寺山吾鬘

務

大塔宮の五百年の御忌ホ　平野廣臣

宗良親王　松岡経年

伴雄

文臣

大伴宿禰家持卿　契沖

安倍仲麿　道幸敦化

契沖

西田直養

和氣清麿卿　千廣

浅井清足

天つ日にいかなるひのあれもたてらはふ日ハはしをなもなかはらん

久道

はあれ弓削の川をせさむくれハもえ侍ましれ下をれ

芳樹

ちとわなくゆゑれ川風はあえてたるたちかへるはしあつのしる

信友

清さえたはひあれもある女なもて弓削の川水これあらせとも

岩崎美隆

弓削川のそこをもしれ西の海にとかさぬ水もさもはらはあれ

直養

君なくはみもきそ川の清させ年たちそのたゆやわひ人まらん

竹村茂雄

よしやそれあしれきちをきらるとも女こそのたをねしはあらへし

山田嘉猷

きらはやうされかしこそ清くへしそのれまえてふ名をれ清くれ

細谷為由

きらはそてしらやゆのんおのとのみちおきせりハ是もなにせん

務

志ゝ程あへこれ手かしそれ中にしも取りひてたる和氣の正雲

此御れ御霊を言雅正りしいちひ犯

らせ給ひけれを嘉永四年三月さら

不　勅使ゐてられて正一位護王大

明神を崇させ給ひけれこゝのいと

かしけなくおもへて

伴雄

ことしよりさらに言雅乃正松を法代をこれたのゐもつとゝなり

八束

言雅正松よりこゝ國史りたくしいまをいふかさらゐんや

高内清夫

ゆゑ法らりしくちれんたゐれさみ言ことし言雅尓をとりなるかれ

贈太政大臣藤原百川公

伴雄

たとれのけしを根ゐんと婦人風をしまちへなてゐれ百川乃なみ

右大臣吉備真備公

いのアさと壬生れ法つ乃志本極そしこゝろ二ゐとあして

弘　正方

志のひ手乃ゐたゐ也うしをもろうしのよしせれ正のやまの部に

務

志ゝ手ゆく吉備乃小正のいとしれいまねもこゝろにけれてなれらむ

千廣

和氣眞綱朝臣

小野篁卿

高井宣風

契沖

本居春庭

努

熊代繁里

伴雄

嘉猷

千廣

藤原保則朝臣

中納言在原行平卿　小野素村

[illegible]

森　為泰

[illegible]

契冲

[illegible]

務

[illegible]

在原業平朝臣　契冲

[illegible]

大平

[illegible]

高林方朗

八橋[illegible]

小栗廣伴

[illegible]

釋拙誠

[illegible]

業平朝臣の小[illegible]

稲岡秋平

内遠

伴雄

芳秀

高尚

治堅

下河邊長流

依平

務

飄齋

岩崎精芳

貞信公

昭宣公

男ひとりをみもわれたりれつれ身におにそのこゝろかくぬる

務

しらぬ火乃者くしれ海ゝゆきかよふ舟のつりひのたえはもてかな

宣長

贈太政大臣菅原公

まもるゝ天うへるをまりしかもんつくしの遠せへ来りん

春庭

なるのくりしころ法くしの浮雲もひかりをそふる立明の月

大平

天つまつころつれし乃雲ゝれて月のゝやこに乱そさやそさ

千廣

さしなもりみそし此種ゝかれとおちきらぬもれを山のもれ月

三積

みまきあしみそし世やかてぬときぬをかつんとそのさかゝれ

務

いかしへ乃かゝみゝもたるかゝむさらみぬ人をしらし須や

伴雄

かりきたる宇田姫の家のぬときぬの心法くしをしる人のなき

こきいてん難波乃こりの四つの私天うちかゝふつなきこえんなり

河合重教

ぬきまてゝかへらん日をや待ありんつくし乃うみの浪のぬときぬ

綱敷天神の法かとり　依平

法くしはしこほしの位ハまなれてもなかひかりしるなみの上の月

三善清行卿　伴雄

ゆかしかん二葉の里人あらはしなれ[illegible]をかくる人なし

小野宮實資大臣　務

もち月にまゐる須やにつるちんタ立のかへしのこう[illegible]の[illegible]ぬこころ[illegible]

粟田関白道兼大臣　美隆

花山をまゐりもおもひしまゐ七日のことを世にしてまちぬと

御堂関白道長大臣　務

あめ[illegible]下[illegible]かもれ[illegible]須[illegible]れ[illegible]へ[illegible]かくれもち月れかけ

小野道風朝臣　千蔭

かしこれや南の殿ハ七かへりぬ[illegible]のこゝろをとゝ[illegible]人とも

木村定良

ちよかりてかゝひのこゝ[illegible]と秋ちれ[illegible]葉[illegible]をもさかせ[illegible]れ

務

さしら月をこゝ[illegible]と秋ちれの下[illegible]のこゝ[illegible]れ[illegible]こゝれ

小谷古蔭

こゝきさきの花の下[illegible]ハ小[illegible]乃[illegible]みち風かをれ[illegible]れ

四條大納言公任卿　務

おの[illegible]ちれもみちにて[illegible]とかくれこゝしこゝれ

永章

藤原中将實方卿　伴雄

世尊寺大納言行成卿　勢

宇治大納言隆國卿　樽井守城

妙音院大臣師長公　内遠

新大納言成親卿　永章

右中辨俊基朝臣　伴雄

長谷川清秋

日野中納言資朝卿　三積

尹大納言師賢卿　務

山おろしいそはしれをぬきつけしひとれ社す神そ多さぬこの

伴雄

大君とさしてしかうもあふ程て世にそしあましまにもそうな

萬里小路宣房卿　竹村景久

法ゆかりし夜乃いわれ一志法くこわれてあふ松乃ことのは

同中納言藤房卿　千廣

かくれゆく天とさへ出てこしあふ川乃弱さへうらめしきかれ

芳樹

法ひ示天これ世をつくしあとみてはゆしかきにも身やかくしけん

石井通庸

おわれおくこれも後をぬらしうる筆玄のやあれまつ川のさしてはあ

保成

いろうへて世になひうぬもつまれなりおもて思くこれ蓮の志ぬをし

有彰

まこひさ紀乃庭をひ出て思くこの山まつ川うえにうるぬらなし

務

あうれその学れ示天来法ひ示ゆくへしられ須なりし天ての和

美隆

五つ日と今一あひこかへまみくあやをくらくもなみる君しの和

小西業廣

かゝらしめうけたまはせハいきのを[illegible]ハつかへ[illegible]

これ卿使の別當にて建武二年三月石清水

行幸に供奉けうふゆつる所うきたる屏風に

伴雄

大かたの人こそこれを男山さうゆくもやしたふのしたまへ

坊門宰相清忠卿

井上清載

掛れちれにおとしもうへぬうれなくてさきあれにあちかくして

豊穎

北りこそなれうきあきれ五つ日とへたける雪のいぬをくもあれう

千種頭中將忠顯卿

積

まうてこれもとけんとける[illegible]をけくつきちれやかりこゝろや

守城

世の中をあおへるそれ一をかこ[illegible]ふ[illegible]をあ

北畠准后親房卿

務

いかもよにしれ人れなきしさ[illegible]のやまかしたまひ[illegible]つくし

飄齋

こゝろをハこやこの[illegible]にしさまてよしをよくしし人にもいるのれ

信古

[illegible]

北畠中納言源顯家卿の墓まで　神吉弘範

北畠内大臣源顯能公　伴雄

武臣

塩推翁

珍彦

道臣命

秋實

伴雄

釋　弁智

高尚

伴雄

高倉下

第猶

第磯城

竹村正雄

野見宿祢

田道間守

秦酒公

武内宿祢大臣

容盛

伴雄

武田千穎

大坪秋久

勢

伴雄

言林

穂井田忠友

山田尚忠

内遠

上毛野君田道

熊之凝

膳臣巴提使

少子部栖軽

闘鶏御田　秋山光彪

物部大連　飄斎

物部守屋大連　千廣

蘇我倉山田大臣　治堅

大織冠鎌足大連　千廣

尾古重伴

弊

伴雅

おひしられ其家の河原のみされ夏天の利徳にかゝれるかな

藤原廣嗣　千廣

梓弓抜ひ河にたつ浪乃あとにまうひしやあらわなりけん

八木美穂

もとくされとのこもれなさくらむつひ人又はたかわにそれかな

藤原利仁朝臣　務

水無月りきゆることを見てるそゆしよわそれいさをなるらん

六孫王経基　繁里

しらぬ火れつくしれ浪も東なるあら山風も天をしれ見し

鎮守府将軍秀郷朝臣　務

こころしに天かあくる越しに須してうちかひまゝるみされ数かな

謡曲の中なる藤原仲光を

朝あられいてたれ聖人に独ぬまてをれまてしこまうみ人のこゝろ

内遠

天かくしたるにそれ家をもかれんにそれ今もれたもやそれ

おれしき謡ものうんてくるる幸壽丸を　尾崎正明

きさむきこれ松乃嵐さんくてか稽しそあそれ松乃しこゝろ

源頼光朝臣　務

同りしたるぬおにこそしたるまゝ大江山かたらひくされまゝハ河りけん

源頼信朝臣

源頼義朝臣　葉山磯名

源義家朝臣　繁里

伊藤芳磐　繁里

鶴夫

岡部東平　清載

篠井克已　芳秀

佐草文清

濱臣

宣風

五十君夷守

香川景樹

源義光朝臣

平景政

安部貞任

鳥海宗任

穂積豊平

東平

繁里

藤原保昌朝臣　遠藤春足

笛のみと目にそめしてぬきもたる大刀のこゝろまてかへてみもたれ

十加　猷

ぬく笛のあるかたしらへにひしりれてみてわれもやしらをれそてつる

務

よさのうしき者にきこえしあら海としらてやよせしたさのしらし浪

保昌朝臣の秋の野をゆくに返よす

徳垂のうかゝらひあれ色に

景樹

花もうあるかしてもおしらしてもしらしてもちよりかたくかをるよそうな

長谷部信連　十加　猷

ちりもおもしに枝をさくへりむろひかりの此れそのふの野中れにしに

長穂

しひきやよみも多れなるいかり穂の行のそのふにしらみんもれとそ

従三位源頼政卿　加茂季鷹

やとゝ柴にしらみかにこゝくれてゝえあけしきさへかさへとゝろくけと

鷲見安歡

ひきとなりけるやの相うせに雲も掛てみあらにてしらしら紙の月

伴雄

五月やしあやめとかゝれおしこ此もよりあるわ見く結のまるかれ

隈河春雄

永章

正典朝臣

土井通廉

釋東濱

有彰

後藤夷守

山内繁樹

佐々木古信

山本陟子

稲葉幸年

井上文雄

垣本雪臣

菅彦

稲垣奥臣

敦定

繁里

飄齋

品川惟明

長穂

平忠盛朝臣

返しとやしみうきの中にいちしろくたきそうへ待る秋のまゝかな

嘉猷

まことにき人をおとしのかさわちか身に多もわともなりにけるかな

太政大臣平清盛公

服部菅雄

ちろきへ身さへやけゝ四方に海のしてもあらぬ狗もしらせ火すり

竹屋春臣

ゆくしてふりやし身に浪にさらさらて日えにしれに身ハひとりかん

芳秀

みれもやのさゝらくたもひのもえすひてすれうへまゝる日枝の山ろつ

堀靡之

白川のしらゆにおちあふれきわてせハ海とくせあれ多さわ名を

嘉猷

これをえてたゝもわたてしいもの子ハまひろこわぬや多せ名根に

伴雄

こわれをんみうきのぬうこつひきのくまひむろこりしを此下かな

務

おとも山もこれまゝのもにいもの子のまひろこれもあはまこ二とれ

飄齋

老手にはれの使によれ中にもさへ待わと何やくめらん

堀江政富

平大納言頼盛卿　伴雄

鈴木政壽

平中納言知盛卿　素村

務

伴雄

武藏守平知章朝臣　務

森本官敬

知章朝臣の塚を訪て　守城

薩摩守平忠度朝臣　雪臣

馬田永成

そのゝ物のえひらに花へしこのれ花やいくよのうくみなるらん

務

春霞たちかへ里清れかひあめて子載可しあふ心されらかね

村崎實子

ひく待て木下こかけにやとらんはれも千載にあれさらぬ

依平

こやこれあふのあれこそやこにとゝめおとそ男とハ名うせしれ名れ海かせ

治堅

海風に男ハまつ男ともいさくらまかしなるのにかくはしきかな

飄齋

さしかたれ里頼の松の下風にかひたつくちあしまのひとゝこ

平教経朝臣

務

つ司の実ひろきひらやれうちれとと拒せ名れまひせとて天のゝ

長穂

いかれとてちて乃いろゝ川おひまてくしれまし鯨乃ゆくへしらしれも

菅雄

行く海乃浪なちむかふ名をとらをたてまにとめてもぬるをくさ

小松内大臣重盛公

大塚清風

あらぬしき木を山風もぬせらぬしかれ小松のよにさらえなハ

長延

たかうらへき法代多はしきもさうえんをかれし小松の蔭りかひなれ

文雄

まかわゆく老木はりなをとうしとてやまやく小松乃かれてふかん

務

さうえ多れ老木のこころたのかひてかまし小松のをしくもうる義

菅雄

たかうらへてなかく小松乃末をとんなれ老木はのうもうれ世りし

繁里

至つ日越わりふ老木はりうきむそかれし小松やんあわれ

渡邊信睦

日をさふる老木はりうふるそれともひとめこそなれ松乃ふる松

治かく

多れしうもをし多されへきふ世ゆそとふ小松の雪の下をれ

有彰

大法代をちよと、のらて後の世乃えかし絶むそ小松何多理

直養

もろこしにこかひをやアしをせこやへくそしいとひしんあせしる

内大臣平宗盛公

なりくふ身のこのうかさとうかるれハさせる死をハ流さらあし

治堅

[illegible]

務

世中の海にあまとぬるれて[illegible]

守城

人しれぬ[illegible]

平経政朝臣の青山の琵琶ひくかこ

長穂

[illegible]

平中将重衡卿

伴雄

[illegible]

務

[illegible]

平敦盛朝臣

[illegible]

隅田定怡

須磨の海やあふきの[illegible]

畠山常操

[illegible]

熊谷直好

[illegible]

芳麿

三位中將平惟盛卿　永章

伴雄

左中將平清経朝臣　清載

東平

伴　信近

六代君　通庸

彈正大弼仲國朝臣　中村良臣

小野　徹

弥平兵衛尉宗清　大藤高雅

下を絶んに笹の雪をとらひしも世にしたふぬしのうつりてあらん

伴雄

西の海に入る日のかけのそしらぬとて東のきしをかへりみもせん

越中前司平盛俊朝臣

嘉猷

なりひきやなるさにおもひし友鳥さしとなとものとあるなんとも

平判官康頼朝臣

易興

磐夜に たちなふ袖も破浪乃かぬしの風やあのこなりけん

鬼界島の流人恩赦に向ひて私出さる

とこ[illegible]

伴雄

あちきなくこのあ[illegible]の浪にさへられてこゝへまかひこれあまに私なる

齋藤實盛

加藤高文

いけにもあれそのまゝのこゝろはしてあらはれあらり老のさへん

有彰

墨そめとなしつる髪のいけにもあにまことのきちそこゝろはしあらわ

五十君夷守

志の原や雲の名なる髪そめてかくしはる名をこゝろはしにけり

永章

かはてよりわたをろうきにしを水鳥はねをもよにありきこゝろもれを

秋平

水鳥はしてにかよへるこゝろをとおもひやうそしぬしの川なし

勢

信近

伴雄

朝臣

六條判官爲義朝

左馬頭義朝々臣

正方

永章

久道

勢

永章

勢

悪源太義平

秋元安民

源朝長

信近

源二位頼朝将軍

千廣

小野利恭

清風

伴雄

維明

光秋

伴雄

八束

有彰

勢

飄齋

素村

近藤光浦

田中正俊

芳樹

勢

信近

源義經朝臣

秋實

古川松根

長尾景寛

勢

鶴丈

尊澄

美稲

伴雄

長澤親子

飄齋

中村蔚也

清風

廣臣

有彰

倩夫

伴雄

鶴夫

瀬見善水

伴雄

千廣

清水冠者義高

源頼家将軍

鎌倉右大臣源實朝将軍

重雄

こゝろそをしらし山ハさけあはあなんはあれ世あても

小林大茂

世れ中は老ぬ女うとと大和乃おもひあのこゝろのれしを

芳樹

大和はかひもなきさにおもぬるを以何あてうれんおもふらん

加藤廣勒

うゝひなれゆくへとしらひれなわやさんしつゑる和せかつゝうこと

飄齋

やろかことなみあにしほとうしれかせやまゝ仇にうけん

伴雄

はるゝをうふ代のてかしは浅夢にあにをしへ和ゆきうゝめしさかな

市女

この礼

一はちれ髪の和はしをかくしとも心ひしまゝの口せあさしれ

鶴夫

そのふ乃やなしはくろふひあもなくなしきの義消しをるかれ

千葉介常胤

伴雄

大和のゆこに女あるかれ子宮の御はしてうけるふまのこゝろとを

三浦大介義明

佐野長寛

きぬうさにその身をはてし切らせしの下をもおわひこわれ

下河邊行平　伴雄

物の具にうへし小桜の名はかれせ志るしのひのもとゝなりつらん

和田義盛　善水

和田のさかもりやちにさかゆくあらはしもとろくそえなゝちまもらし給く

伴雄

下とほく小ゝくれなゐのちやふれあかひらきたる和田乃かもしれ

真田與市　蒲八十村

こゝろ月よりさむき氣をもののふしりたゆくもし雲かくれ去て

伴雄

かさゝくれてしのちやまさむゝうちてかへん月とみるの杉村

佐々木三郎盛綱　村瀬千浦

わかのうらなみあつくかゝる浦せのもとへ舟の跡やまつりきこゆらん

片岡德

なつのれてそれよりてしものゝふのなのそのみなからやちとなりぬ翁

同四郎高綱　伴雄

脇楯れゆくはなれきこととかれまとるかくれこのゝぬれきと

務

とのゝぬのうち氏川せのほとりれ名のおもてやうらのみの一つ

東平

ちきや人宇治のころもれさかりけ小浪よりさるく名をてこちられ

佐々木と梶原の宮治川ヲ渡れ和　百枝

こゝ浅せせたちあらそひしものゝ姫乃其の名なるの浪こうちれ川浪　長穂

こゝなんてきゝむ二人乃一ふちそうちおくれたる宮治の川波　蓮月尼

こゝをせとさふひてこゝろしをのこふ乃名ゝなるまたるうちれ川浪　伴雄

梶原平三景時

くゝそてもおこりあるぬらん浪をいくゝひ岩ゝ姫まんとやまゝる　重教

同源太景季

もれゝ姫のこゝろのまゝひゆるまれを八十氏川の浪におくれし

五十君夷守

かさしつるまれおもかなきまれ世にのこれ生田乃杜のうめかえ　長穂

おくれぬをこゝろの茶をものゝ姫乃かさしいくたの春の花かえ　官敬

きるまみ乃すれこそ紀うちれ川浪ふこゝ姫のこゝろもたちやおくれし　吉岡美知

那須餘一宗高

ふたまゝにこゝろうち入まてにの川せちいかふくるしくひきしわりん　上田穣

もなり矢れそれハ無んと思れをとち法にかけて弱やまゝめし

増田千春

義隆

伊藤義足

河津三郎祐泰

畠山次郎重忠

勢

文雄

伴雄

廣道

惟明

矢定美章

江口方雄

佐藤次信

佐藤忠信

河本信正

三輪寛之

伴雄

方雄

伴雄

伴雄

妹尾兼康

北條時政

同義時

同恭時

廣道

嘉猷

伴雄

清夫

千廣

勢

[illegible]

嘉猷

[illegible]

美隆

[illegible]

同時頼

伴雄

[illegible]

相摸太郎時宗

勢

[illegible]

同高時入道

伴雄

[illegible]

謡曲の中なる佐野常世を

有彰

[illegible]

精芳

[illegible]

幸文

[illegible]

青砥藤綱

田所顕周

[illegible]

繁里

島田真平

東

八束

長崎次郎

工藤新左衛門

鴨河集附録　詠史歌下

贈中将橘正成卿

力石重遠

直養

廣道

芳樹

光秋

舟曳大滋

務

雪臣

嶋憲元

拙誠

飄齋

八束

正木通堯

美隆

神吉弘範

湊川ふち瀬さためぬよの中に猶のこるその名ハとこなめにして

中村良弼

みなと川かはらぬ水のなかれともきえぬ名をこそ世に流しけれ

信友

忠にくれ行末まてもちかひてし湊川ちかふ水のあとやきえせん

伴雄

みなと川堤くえてもこの名こそあくまてすまさらましはし

内遠

いかなりし事くはしきも名におはみよゝにならひて業はのこれ

宣風

きく人のなみたのかはにとまらぬ名ハ世に流しけれ

笠画に捺すしるしを見て画

八木真門

[illegible]

湊川の碑をよみ侍りて

有彰

ちよふともいさゝかもくちぬ楠の石にかけてのこれいまもそをよむ

楠正行朝臣

藤井清澄

父の名にひきくらへてもはゆなかれ入るかたをしらぬめや

飄齋

たちそむ花のさかりは見えねとも井のさくら絶えはせん

光秋

さくら井はさしてはまぬらせよし野の海も程なるかれ

有彰

きくさしき名ハのこりの程ふよし野の雲の雲井にすけ入しよし程

爲由

かくさし紀何ハ行とともこれ雲せよし野の雲れひと木な程なれ

千浦

よし野山ゆふをかさりれ夫人はしかれ雲をとしくやハあらぬ

官敬

きくさしき名を桂の戸にとゝ先れきて小ふくかせすちれさるかれ

高文

よし野山のこ程る雲れ一もせハ小ぬくかゆもけきひかゆ

豊穎

おおひ行る南れ大木枝を持てきたらせさむしみよし野の山

務

とてもせてなるらへきをぬきなれとをしくもあるかれ彼も程の山

伴雄

せしてとせそよし野の雲にならしとそちれをいそ程しの揺かれ

信友

世の中になるらふ雲くもにらぬ身せなるにかなり虫れ火にて入らん

三積

林　政幹

秋平

信友

勢

信古

新田左中將源義貞卿

美隆

永章

勢

櫻　東雄

蔚也

[illegible]

伴雄

[illegible]

義貞中將稲村崎にて太刀をしつむる事

本間遊清

[illegible]

保成

[illegible]

義貞中將と尊氏將軍とは

千廣

[illegible]

新田義顕朝臣

嘉猷

[illegible]

新田義興朝臣

春雄

[illegible]

伴雄

[illegible]

脇屋義助朝臣

春雄

[illegible]

名和長年朝臣

三積

[illegible]

務

[illegible]

素村

[illegible]

弘範

[illegible]

榎本寛蔭

[illegible]

伴雄

[illegible]

千廣

[illegible]

務

菊地入道寂阿

一[illegible]

伴雄

[illegible]

高雅

肥後守武重朝臣

[illegible]

三積

肥後守武朝朝臣

尊孫

宇都宮公綱朝臣　所光被

川口孝澄

景樹

三積

児島三郎高徳

嘉猷

飄齋

道男

内田包道

楠瀬大枝

かしこゝのことをもはかるまされら事にやすかしこゝろの実を話ひ清く

安歡

咲かほふゝやこはをくかへきいろをうゝ御たるまれとのをふ

蒿蹊

まよいさもかくしたれもれゆの実すきしむこやしのを

有彰

たくら本にうきのこしあることのをを拝されら本にゐるまてうゝかれ

安民

くゐ山のあらしは家を出しよあられへの言はあちをまつこふ

村上義光

千廣

たくらまちらへき時とちなにはんいさあをてるしうゝかしまのふ

務

見よしまの外は置生はむされらけれこゝろよはちまのあらひや

爲恭

あらちゝ乃ふ屋こあらともまか天ゝかきしあしいさをたくひあらめや

本間孫四郎

景久

おかあらにまれ川矢さはのかまあくるおちあしけこの名をまうれ

塩谷判官高貞朝臣

千浦

まつ直なる竹の下をぬくかへてちよにうき名をなりし清るゝれ

加古川をうる時七騎塚をうゝく

守城

[illegible]

小山田高家　芳秀

[illegible]

芳樹

[illegible]

歴朝要紀竟宴て櫻山入道俊蔭を

小泉康敬

[illegible]

足利尊氏將軍　長穂

[illegible]

[illegible]

足利直義朝臣　守城

[illegible]

足利義滿將軍　務

[illegible]

真門

[illegible]

高師直　芳樹

[illegible]

伴雄

顕周

高師重

白石元重

宇野阿王

岩本義親

土岐頼貞

嘉猷

細河頼之朝臣

細河勝元朝臣

太田道灌入道

有彰

春臣

信古

伴雄

足利義政将軍

豊穎

古屋菅賢

清丈

勝間田盛稔

はるかにやかゝるにたゝかひも月の影はの
かくれ家ありしはかなかりけれハトつゝみける　芳樹

なよ竹の川霧をわけてくる舟もありけなそ知らん　信交

上杉謙信入道

ゆくあきのあらそひしにほとゝし川中島のむかしも波　飄齋

さゝ川やさゝ流く流れもなし河ともせくさゝらゝみもかなしかり　務

よの人のくらへりてそさらみの越の志らゆきかひのころもなゐ　伴雄

野史覧寡有上杉謙信と

[illegible]

謙信入道月をみて詠ける哥　千浦

風月のちれゆきの霜を身にしめておもふかたの月をみるかな　方雄

宇佐美貞行

世のひろくもらしぬる根のあれなき志られ池の姉のさゝこゝろを　信友

武田機山入道信玄

緒の流れ姉のたのもしかひもなく一よそかりけるのとゝ風　有彰

川をこれよのあらそひもかひなくて身このつゝれ信かひのゆらなる　務

川中の小志あるところおきし男に人ありとられし四方の海の船

橋瓜尹香

ちくあ川さう海く浪のうき雲かたちおくれりかひのくろ船

今川上総介義元朝臣　長柄紅彦

いかほちの船おちてなる海のゆかくちにうちくらけてる雲なるらん

信友

世の中ハ[illegible]へなきものかさられしをむけうあをさにふよきの山かゝ

義元朝臣の桶挟間なれ塚にて詰る

小桔梗の花のほきまゝ程なれ

三積

もろうましかくみの雲を掛きそへて手向にけるうつさかゝの雲

別所長治　安民

後のよいはなかゆきて雲の花は人乃いのちをかなてきえたちや

足利義昭将軍　伴雄

志きしくハ都の花とおほひなり南民の清なれ雲そめの社

贈太政大臣平信長公　信友

おもふ子の花のしらひもかゝ子自のあけちうきよのつかしあ風

八束

水いろにかなひくもつ風し夜のよの船うくちうの花のもとこ雲

直養

これのめとぬきたれちくる腰刀ひつ後にとておもえさあらん

守城

文雄

有彰

務

大橋長廣

芳秀

深澤高之

文雄

松根

内遠

繁里

管賢

樽井きみ子

岩崎利記

有彰

幸年

伴雄

文雄

勢

筒井順慶

守城

佐々木春丈

竹中重治

秋岡守達

柴田勝家

芳樹

伴雄

門脇重禮

横井時敏

春臣

蜂須賀家政

繁里

清水宗治

中河清秀　伴雄

中河やたきちしれれおまのたそいあもめふる川余吾れ海なる

森蘭丸　平川保明

いまもなれ名そかくそしる紀葉かく葉しゆにまれいのれしかと

浮田秀家　治堅

抱頭れくあしにひらん姉しもなし名きくへうき田乃杜のしめなは

加藤清政　飄斎

かく鎌のさやかき自ふ雲をれてあの草もなきもろこしの原

芳樹

うち程の自れむかしさひ[illegible]れハうれぬ草かきそろこしの原

伏見山月のむかしくもる頃そこれもろこしれとてとゝんあし紀

釋孝敬

もろこしれとわきふ日のもとの風なひかしと海をうとをこれ

伴雄

そろあしにをひんまとひし日のもとの扁てふ雅をおしこかあり紀

清正朝臣朝鮮の役にて不盡山へんたる和　幸年

非風ふなむくとゝんもハ姉しの口の姉りかと太ふりは紀もろこしの原

尼桐且元　飄斎

きらこ雲をとらふ河あ月にそむくともおりそて自にそむきぬるを

有彰

伴雄

飄齋

太田尊信

飄齋

美親

伴雄

森田良道

飄齋

大平

歌人

神本人麿

なれかきれもせのそれ才ハ下れからことれ業なるくにかくこれ非

長流

しきさ山れさひとりゆくかち人れ木幡有り馬ハしてしなりけれ

契沖

さをしかの方角山の山あとにたゞふることにたゞれかあふかれ

高尚

にすゝ稚い川方津の山の月をたゞかなりけれ笑かむかしこのたん

務

非世より絶根をしらそめつるこゝ此れ笑ゆもちてこれ来頃あり絶

山部赤人

大平

下にあるむことをかくしかし寒かれといひつくるれ帰りのる山

契沖

和れの海有りうち出くきたれ鳴とたるあ川の一夢なくもなれ

秋實

ことなれ川を知れをぬ帰しの白雪ハ笑かこゝ楽れ知かなりけれ

有彰

世にあふくことをれ来を不二の山の雪れ下ふそあしとれ知ふ

務

ほうれうれゆふしをみちにあくたり川の夢ハちとせをしきそる

猿麿太夫

契沖

大友黒主

中山美石

豊穎

安民

清澄

村田春門

文室康秀

中納言兼輔卿

契沖

紀貫之朝臣

長流

宣風

丹羽秋風

やとりせし和漢の梅をとりしほくいまも清こかりしかりしかとの春

紀友則　務

秋霧のことのこゝろをおもふ君とうらとおとろこりしほるまゝかれ

凡河内躬恒　契沖

きくたにまこうめたにまかせほうふ人ことのまれにまゝかしきこれ見る

壬生忠岑

こよしかの山をかきこれかくるよりこそしみてふてきさ名やこれ

務

とかこれはたそのまゝ川完多てきこゆとはこゝ身れ上をいふかやけるん

壬生忠見　契沖

いはうこれぬりき山よりほとゝきはよこのこゝろにいはくなくらん

藤原敏行朝臣

こよろきれ俗のこゝろめをかまそめれことのもなから沖に出よそり

中納言敦忠卿

いのかしてふ君れ演のかひよりもはさしるまゝよりしろひらん

藤原元真朝臣

山さやこのきこゝぬかこゝろのこゝろよりも名こそ殊にて久しかまそれ

源宗于朝臣

冬はきて人めをまもかれこゝろこ記も木なれや其のことの葉

平兼盛朝臣

藤原興風

源公忠朝臣

坂上是則

藤原清正朝臣

藤原仲文朝臣

通光

契沖

源重之朝臣

五條三位俊成卿のかず

景樹

高尚

京極中納言定家卿

豐穎

良臣

定家卿は六百年れ忌ホ

杉本峯守

勢

業廣

家隆卿の六百年れ忌ホ

美隆

有彰

上田秋成

忠友

契沖

儒林

源順朝臣

大江廣元

官敬

熊澤蕃山

孝子

大中臣能宣朝臣父頼基朝臣

田中大秀

隨身公助父武則杖

大平

曽我兄弟

惟明

真佐木元興

渡邉信英

[illegible]

伴雄

[illegible]

五郎時致

勢

[illegible]

謡物の小袖曽我とゆふ[illegible]

信近

[illegible]

日野阿新麿

冷泉古風

堀こゆ[illegible]

秋平

[illegible]

勢

篠[illegible]

伴雄

[illegible]

義勇

壹伎直眞根子

伴雄

[illegible]

調吉師伊企儺

今[illegible]

大石良雄

治堅

世かしらのふる雄のみをしせしきしくそこの姫の名を若に[illegible]

諸熊好足

年月に[illegible]

澤温夫

[illegible]

務

[illegible]

善水

[illegible]

有彰

[illegible]

伴雄

[illegible]

良雄の慶宅の瓦をみて

秋平

[illegible]

良雄の自らかゝるが銅の馬の画に

柳田美卿

[illegible]

良雄の墓洋の里に[illegible]

芳樹

[illegible]

泉岳寺にて義士の墓ヲ詣て　芳秀

秋のあれにあらはるきゆれ雪のよれいさをて世にのこりにかなまり

大高源吾　精芳

心をぬくもうらもとをもにれのあきてもてもれ天かみさはや

女流

光明皇后　松田直愛

法佛にしたむくるにはあらはなきにはんのうゐにそこく法師乃事にて

上東門院　務

にはれ絶にもとみ子の庭の雪にはしたしをはくしをれてしうれ

建礼門院　永章

法かにはくもまにうれきあれこてくひしはむおもひなりけ絶

にうくうれ庭のもくのとくちもせてなにうへるうれめなるん　繁里

西のあはしまのうきてくおかまのうきてきてくれよりの月に　官敬

齋宮女御　契沖

久かたの天つをとめのことの音にはよひやこうしみるの松かせ

大よくのみるをあふめて、いとしくはまとなる色の浦のひめ松　長流

淮后廉子　永章

[illegible]

治堅

[illegible]

衣通姫　景樹

[illegible]

菅彦

[illegible]

敦定

[illegible]

齋院有智子　務

[illegible]

伊勢御　契沖

[illegible]

大平

[illegible]

豐臣北政所吉子　美知

[illegible]

有彰

[illegible]

一位禪尼　長穂

小野小町

大平

蘆磨

高井八穂

蒿渓

方雄

廣道

林淇園

保成

大田垣知足

廣勒

菅賢

勢

佐伯隆麿

契沖

伴雄

和泉式部

中務

小町

小式部

赤染衛門

清少納言

青木永古

内遠

春臣

伴雄

小谷昌守

治堅

廣伴

正方

依平

浅山可清

大平

永章

むらはきれ種のうちかるからむらはきれとせかやかくれて

永古

何やまふくもよまちうたくれひなうれ何をしかふ桂の板戸を

務

あるひさはうるむらはきれ摺衣はかさねは岸ぬくよそ

伴雄

まうはきれ乃ぬるよこうへの下海にたひさは人もなき世なりけん

業合大枝

清清なるれはわかるやふかきしや日本御書を名におはしは東

紫式部石山寺ゐて月にたるかた

依平

志ふやかぬうへまもかなて東はよふもてさるかれて須磨乃海流

小大君

契沖

もしきれうしかた橋名ゐおひてこをきれまゐをかほたれやたまし

小督局

中島廣足

れもほきはひきとやられてことのあれはしも清うきれまれ自執

美郷

自にふくはの聖の私乃秋風もまちぬ可しきしまふくかへれ案

風見輝興

まくこのこ聖むらしにかを絶今もなほおれしまちぬの自をしるかれ

中林古樹

利記

大井清海

齋藤彦麿

元興

濱臣

景樹

大枝

昌守

小宰相

勾當内侍

常盤前

大平

宣長

永章

八束

勢

景樹

芙蓉

畑中重稔

有彰

野井安道

古樹

うちなしきみきとかへはてくれ竹乃事にくましきゆしとうんなしや

伊澤主呼

とれは木れ一ふひ事に志を経須ハ二年にさくらんなとうんなしや

寛之

老盛木れおのうみきをハとはなかりの本かりの事とおのきはうれ

原弘濟

ゆうきにうちなしうはてまて極乃これめくれめくこれどうんなしや

美隆

生ぞんで根をかつ成いのちあて一もとしてもや重りぬしてらん

鴨附下卅五

内藤正義

花なしぬ乃のちきあをいつて人無きしてかもいつて経きさをれるらん

久保信成

みきなら地乃とあとなるて子ふ海よふくろれやこにはよふなるらん

西村久浮

おもしろ乃事れ命とうちとてむしてかもいつて経きれりひも

憲元

うれとしし花の下ひもになてしこれ事乃命やむしてひとめらん

並河饒石

金乳根のたられめくへの事ハなてそれなしてしこれ事もされらん

依平

古風

原久胤

瀬田貞固

依平

春夫

歌

橋本資

伴雄

矢野正胤

巳女

板額女

梶原景季妻

勢

なぜもかく茶ぞちれ須とかむ程をこころあくるもにわふ事風

松下禅尼

大かたはしれ松の下が家にのりとれあ母れぬのをこころも

千代能尼　景樹

人志程にこころ此庭有せしたる時ぞの月もくたるかれ

依平

谷れ水くめをくまれし自然乃やと程もたてぬ世にはこれ日程

鎌倉の月影の谷といふをむかし阿佛尼の

ぞ母れ母ゝ所となんそこ下ゆきとも

中西多豆伎

自が家にやつれし程ぞ浪あらき後ぞ身ぞ絶ぬかしめ見ん

賀茂神主基久女　八束

ちふてまとこ又乃ゆふへの葛さへひきあるへぬるこしくるあれ

淀君　有彰

ちまのこ風桐のこ事思ふ事をそれ世にしてこれ杜乃もみちそ

貞婦

田道妻　守城

おとつまし　ちさかの風ふぬるんこのれきの妻れしまちつ浪り

伴雄

[illegible]

上毛野臣形名妻　千廣

入[illegible]

春臣

[illegible]

引田邊赤猪子　市岡猛彦

[illegible]

方朗

[illegible]

松浦佐用媛　伴雄

鴨附下共

[illegible]

袈裟　務

[illegible]

小野方

[illegible]

伴雄

[illegible]

尼將軍將子　正方

[illegible]

務

静女

正典

中村豊足

水守春樹

務

菅沼斐雄

蜜道

美卿

伴雄

長田美年

春夫

高鞆

楠正景

清秋

政壽

方雄

景樹

岡部秋子

伴雄

隆正

大儀驛虎女

楠正行朝臣母

伊賀局

細川忠興朝臣妻

飄齋

遊女

上総末之珠名

梶取魚売

長流

櫻兒

髮兒

眞間手兒那

内遠

檜垣嫗

高雅

信近

祇王祇女

千浦

大湊黄雄

三積

芳秀

遊清

内遠

藤田春史

樋口種實

依平

覇齋

佛女　清

勢

信睦

有彰

正方

横笛

岡平保

熊野

春門

信近

雪臣

景樹

謡曲の中なれ熊野を　長延

[illegible]の車ぬるんで[illegible]ゆくらん

龜菊　務

[illegible]

江口君　春門

[illegible]

[illegible]　信近

[illegible]　廣道

[illegible]

[illegible]　良臣

地獄　有彰

[illegible]

方伎

白箸翁　嘉猷

[illegible]

巨勢金岡　小川萍流

[illegible]

博雅三位　大平

本もとこゝ[illegible]の条にかく[illegible]

浦嶋子　魚彦

鰹[illegible]

春海

[illegible]

繁樹

[illegible]

長穂

二人[illegible]

勢

[illegible]

野村静入

[illegible]

坂本秋郷

[illegible]

小野機

[illegible]

内遠

[illegible]

蟬丸

契沖

曽呂利新左衛門　芳秀

釋氏　有彰

役小角　宣風

傳教大師　福田和夫

弘法大師　伴雄

花山僧正　萍流

大平　真平

清

長穂

源学此山のさふ事を見てしよりは仏りなる心くるとなりかたき理

美石

よろしきまれとも にうき世乃あさりあもしかぬ心乃まそこと有る

通尭

とゝかへしを経るまかきれ人ことに満ちたるさ名をやとりん

有彰

かくるあやとなとゝめらんとゝなへしいそぬ家なるまとゝ理清く

僧正遍昭の九百年乃忌ゝ

蒿蹊

鳥もねにかなきて昔をしのふ事しのとることゝ此茅山乃こゝ家

素姓法師

契冲

茅山乃名ゆゑ是のさしゝ心のこゝゆゑ是のされしあれしあれひ

喜撰法師

ほとゝ我ほ我ゆゑ絶みやなましうち山乃雲ゐの月はそうなる事も

千蔭

いつ川さ此雲可あへ乃うしあれ乃月はゆくへを雲しらぬ

依平

宮治山や本ゆゑさ峰此雲るよりもるかなるし河あ此月

豊穎

かくれしもむよ浅うち山乃本ゐるよりも雲此上満くゆくほとるかれ

大塚正雄

うちしぬやかたりふれたる一こゑもはこゝろひなきにたゝれ

井上高[illegible]

れのたとしたれをもちよ[illegible]うちしぬかなにしあんとおもひ入きや

石津亮澄

おもひ[illegible]ふしのふむかしまかしみなり[illegible]をうち山乃[illegible]月

春支

のゝ[illegible]は[illegible]乃秋の月せとうち山をたまへらふ[illegible]

多武峯少将高光　契沖

うちやしし自よりしてぬれ横川乃水れ[illegible]

勢

自もあこうしやましとやおもひん横川乃水にしあれこゝろを

空也上人　和夫

かしあしをしてしあさもれをなりひさしかせてふ秋になりかゝるん

圓昭法師　勢

よ[illegible]してゝ[illegible]しみぬしやれ[illegible]をもふ秋こゝろかれ

伴雄

[illegible]

能因法師　有彰

なりさよれゆめのちあこやかよひるんにのこしこゝろ川の[illegible]の秋の[illegible]

今泉則忠

長穂

俊寛僧都

入江義信

伴雅

武藏坊弁慶

内遠

利泰

重教

文堅

大滋

丹羽氏曄

こゝろをふちこの枝乃行るよとハ志ゝて自白の雪くかゝれる

弁慶三井寺の大鐘さゝぐる画　美隆

いさやまゝ意の如き荷を志ゝるとも其ゝかゝる世にしたあれ

伴雄

あらことゝなるひなるゝ此山おほしよ不吉なくひきゝかゝる

西行法師　易興

よひのゝ此雪乃光ふ見ゆるかれ言屋の山乃まつの下を徑

春雄

こかゝかも雨さる子をまへてしまれなふ白の子にひとゝかん

尾関勝清

志ろうの子の猶そなるかせん白ゝ此子や清白をたふとてしかしまれを

芳秀

墨流の独を結ひ生んしろうの子乃つゆまゝき世の蓋ハしてしと

宣風

はゝそゝめ乃独ふかゝてふ母ゝ身なまへなまふなし

方雄

うれ世をものゝ徑をしたる自乳ふかゝ川やなゝ此深なるらん

務

志ましとてあちとあり清る様の音深しきひ身徑ゝおよそん

有彰

[illegible]

治堅

[illegible]

伴雄

[illegible]

彦麿

[illegible]

長穂

[illegible]

西行ヶ不盡山[illegible]

大平

[illegible]

寂蓮法師

[illegible]

務

文覚上人

[illegible]

萍流

[illegible]

長穂

[illegible]

孝澄

[illegible]

飄齋

芳秀

有彰

千浦

勢

宣風

和夫

宣風

重雄

三積

有彰

伴雅

一休和尚

勢

姦臣

石田三成

颿齋

信古

文雄

直養

信支

秋實

叛臣

弓削道鏡

伴雄

信古

内遠

春史

年平

飄齋

くわの雄ふねとそ木乃葉ハ大木ゆへ山風にあてましめなりけり

依平

大きなれあらし山さわら来にけひ木重とち雄ゆく葉津かたらひ木

廣滋

小車もうしせ見つらんゆへ乃木ゆへ乃こけましゆむこゝらしを

高橋博鞆

大きなれあらし山あられ詣そらも行ひ有見そらにまつのさら

貞幹

にきゝて朝日ゆふ行ふ雄もなく木ゆへ山さくらち雄ゆへ乃

小出太比羅

朝日うゝ東てゝ須さもなく葉津かたれ松原さしてもかゝゆきふかわ

有彰

此り出し木ゆへ行ききぬにうゝ後ハ朝乃こちも名くりをとして

伴雄

鶴ゆ母おりかへ生やせ此もひ人木ゆへ乃にさしぬ朝なり後てまて

今井兼平

鶯

天ゝ名ハちと鶴にちもたゝめやハにまつ川乃ハられ松ハかゝことを

飄齋

葉津ゆへ此を乃ゆせくゝたゝてもかゝやゝ名をあさひ子乃こと

赤松圓心　八束

[illegible]

貞幹

[illegible]

守城

[illegible]

善水

[illegible]

年平

[illegible]

赤松則祐律師　清丈

[illegible]

金吾中納言秀秋　瓢齋

[illegible]

精芳

[illegible]

逆臣

蘓我宿祢馬子　伴雄

[illegible]

高鞆

人なれぬ名をあひぬるや人ならぬ人となるへ[illegible]

治堅

明智光秀

時そのあとをかけ地の徒さたまて[illegible]

幸年

[illegible]

元真

[illegible]

春夫

里の子にそう徒をもはく[illegible]

文雄

[illegible]

夷守

[illegible]

年平

[illegible]

伴雅

[illegible]

明智光俊

芳秀

[illegible]

官敬

秋平

光秋

古戦場

有彰

幸年

千廣

秋平

年平

大滋

頼杏坪

伴雅

[illegible]須人[illegible]氏の川橋[illegible]

大御代壽　和田正主

[illegible]須[illegible]

伴雄

[illegible]

詠史歌集作者姓名録

名のとゝまれ者ハ[illegible]漢[illegible]かゝ
[illegible]音の[illegible]

㋑ ㋕

有彰	京	桂藤左衛門
依平	遠江伊達方村	石川惣太夫
遊清	伊豫吉田家士	本間遊清
夷守	周防三田尻	五十君又一郎
易興	紀藩	神野蔀

蔚也　播磨網干山津谷村　中村研堂
尹香　江戸　橋允儀兵衛
為由　京　細谷新助
為紫　出雲松江藩　森左馬之丞
惟明　紀伊田辺家医　品川玄瑚

(口)

蘆菴　京　小澤芦菴

芳秀　京　福井藤左衛門
芳樹　長門萩藩　田中晋一郎
芳麿　美濃駒野　伊藤惣右衛門
八穂　江戸　高井伊十郎
八束　伊豫宇和島家士　近田隼人
八十村　飛弾古川　蒲与三兵衛
方　備中長尾　小野猶吉
方雄　備前　江口

方朗　遠江有玉社司　高林舍人
繁樹　紀伊三名部　山内太郎兵衛
繁里　同　熊代源蔵
包道　彦根藩　内田収翁
百枝　紀藩　山田八右衛門
伴雄　紀藩　長澤衛門
博勲　紀藩　高橋國助

ホ

豊穎　紀藩　本居稲掬
豊平　伊豆吉田　穂積順亭
豊足　遠江天宮　中村卯兵衛
保明　京　平川欽蔵
保成　紀藩　小島備源
本資　備中宮内　橋本内匠介
弗隠　加賀　那谷寺
峯守　長門萩藩　杉本源次兵衛

(ヘ)

萍流　京　小川勇

弁智　江戸　增上寺所化

飄齋　京　平塚飄齋

平保　播磨室神社　岡大隅

(ト)

東平　江戸　岡部蔵人

東雄　大阪　櫻勤負

釋東溟

敦化　肥前長崎　道幸定三郎

敦定　同　道幸小十郎

德　備前　片岡德四郎

土満　遠江平尾八幡社司　栗田壹岐守

(チ)

長流　大阪　下川辺彦六

長延　京　中河宮内少輔
長廣　京　大橋九右衛門
長寛　京　佐野治兵衛
長穗　若山　安田長兵衛
重遠　江戸　力石氏
重教　彦根藩　河合順介
重稔　因幡鳥取　畑中良輔
重禮　同　門脇縫殿之介

重亂　出雲杵築　龍兵庫
重雄　江戸　和田清三郎
重伴　周防宮市　尾古主計
直養　豊前小倉藩　西田庄三郎
直好　大阪　熊谷助左衛門
直愛　大阪　松田和右衛門
知足　因幡古市　太田垣八十右衛門
治堅　因幡鳥取藩　臼井源三

忠友　京　穗井田縹介

(リ)

良道　京　森田相摸

良臣　摂津伊丹　中村孫四郎

良弼　良臣男　中村孫四郎

利恭　遠江森町　小野戸右衛門

利記　播磨改越浦　岩崎仁右衛門

亮澄　大改　石津並輔

隆麿　伯耆赤崎　佐伯昇平

(ヲ)(オ)

甕麿　遠江白須賀　夏目嘉右衛門

(カ)

高尚　備中吉備津　藤井長門守

高雅　同　大藤下総守

高匡　伊勢松改　三井進蔵

高之　播磨赤穂西野山村　深澤三郎

高文 播磨網干 加藤篤太郎
高輔 周防宮市 鈴木武雄
高鞆 大阪 井上幾助
康敬 京 小泉將曹
蒿蹊 京 伴蒿蹊
嘉猷 京 山田長左衛門
可清 紀伊田辺 淺山治兵衛
教寛 駿河竹原 大沼玄齋

好足 長崎 諸熊祐助
幸年 若山 稲葉久左衛門
孝教 因幡智頭宿 西光寺
孝澄 若山 川口久楠
菅雄 駿河島田 服部千左衛門
菅彦 紀伊日前宮 森本安藝
菅賢 紀藩 古屋藤之助
かの 紀若山 小倉屋金兵衛女

ヨ

容盛　武蔵府中　猿渡豊後

タ

大平　紀藩　本居三四右エ門

大秀　飛弾高山　田中弥兵衛

大滋　筑後久留米　船曳齋宮

大茂　因幡鳥取藩　小林鶏三郎

大枝　備前上寺　業合右仲

大枝　上佐藩　楠瀬六太

内遠　紀藩　本居弥四郎

道男　安藝山懸郡　國本帶力

太比羅　備前岡山藩　小出平之介

多豆伎　河内牧岡　中西宗兵衛

レ

蓮月尼　京　太田垣某母

ワ

尊孫　出雲杵築　國造　天日隅宮御杖代

尊澄　同　千家杖代彦

尊信　因幡鳥取藩　太田重之丞

素村　京　小野帯刀

則忠　肥前佐賀藩　今泉傳兵衛

通庸　伊豆江間　石井半七

通堯　彦根藩　正木治部

通廉　播磨龍野　土井佐太郎

饒石　京　並河掃部

務　備中長尾　小野本太郎

温夫　因幡鳥取　澤治右衛門

光彪　豊前小倉藩　秋山庄兵衛
光輔　肥前長崎　近藤半五郎
光被　江戸　所周朔
光秋　紀藩　土岐孫次郎
廣足　長崎　中島太郎
廣臣　尾藩　平野春策
廣滋　因幡鳥取　桐林三郎
廣雄　越後加茂　大湊権三郎

廣伴　遠江石原　小栗直助
廣勤　京　加藤重太郎
廣道　大阪　萩原鹿蔵
鶴夫　大阪　長田作五郎
和夫　若山　福田石候
官敬　大阪　森本勘兵衛
寛之　播磨正條　三輪孝哉
寛蔭　因幡鳥取藩　横本正右衛門

ヤ

野洲良　江戸　関岡長右衛門

マ

猛彦　尾藩　市岡藤太郎

ケ

契沖　大阪高津　圓珠菴

彦麿　江戸　齋藤可怜

景樹　京　香川肥後守

景寛　江戸　長尾仁左衛門

景久　紀藩　竹村又摘

經平　周防平生　松岡良哉

業廣　摂州伊丹　小西新右衛門

憲元　島

言林　出雲杵築　中弐部

顕周　紀伊田辺　田所左衛士

元興　大阪　真佐木利右衛門

元重 出雲杵築 白石貞美

源子 山本

㋐

弼 備前兒島 野崎武左衛門

文雄 江戸 井上元真

文清 出雲杵築 佐草民部

㋑

弘範 播磨平福 神吉新右衛門

弘濟 越前敦賀 原貞八

莊彦 京 長柄春龍

吾鬘 尾藩 寺山虎助兵衛

克己 備前兒島 篠井良平

古風 長門萩藩 冷泉信左衛門

古信 長門萩藩 佐々木勝次郎

古樹 伯耆米子 中林元亭

古式 紀藩 鈴木芳右衛門

古蔭　因幡鳥取　小谷忠二郎

(ヱ)(エ)

永章　長崎　青木丹波守

永古　同　青木大宮司

永成　同　馬田又次右衛門

永親　同　馬田又蔵

英棟　三河國府　平松次郎左衛門

(テ)

定良　江戸　木村俊蔵

定帖　江戸　隅田鴎齋

貞幹　因幡鳥取藩　白井平馬

貞固　伊勢三ヶ野　瀬田雄造

貞融　信濃　岩下

徹　備中瓜嵜　小野良三郎

(ア)

安平　摂津御影　嘉納

安民　播磨姫路
安歎　丹幡藩
安道　伊与八幡濱
（廿）
三積　長門萩藩
（十）
義信　丹幡鳥取
義足　伊藤
秋元正一郎
鷲見勘解由
野井善三郎
靜間街助
入江喜兵衛

奥彦　江戸
奥臣　伊豫大洲
淇園　因幡鳥取
杏坪
輝與　京
季鷹　京上加茂
機　備中長尾
磯名
梶取
稲垣太郎兵衛
林勘右衛門
賴
風見一之進
山本安房守
小野貞三郎
葉山

久亂　相模大槻　原奘月

久秋　紀藩　山田雄次郎

久道　紀藩　水崎又兵衛

久浮　紀伊名所郡中島　西村上總

（シ）

春滿　京　荷田齋宮

春海　江戸　村田平四郎

春庭　伊勢松阪　本居健亭

春門　江戸　村田蟹守

春夫　大阪　佐々木太郎

春臣　京　竹屋角右衛門

春足　阿波石井　遠藤宇治右衛門

春史　藤田

春雄　播磨龍野在宮本村　隈河春雄

春樹　播磨下十井　水守順節

真淵　遠江濱松　岡部衛士

真門	播磨山崎門前村	八木佐兵衛
真平	長崎	島田真平
真徴	長門藩	完戸九郎兵衛
氏比呂	近江信樂	多羅尾靭負
氏曄	豊前小倉	丹羽相馬
如尚	紀伊加太神主	前田美濃守
昌守	若山	小谷岩楠
種實	日向延岡	樋口四郎左衛門

穣	因幡袋川原	上田恵二郎
勝清		尾関
尚忠	紀藩	山田庄左衛門
常操	江戸	畠山梅軒
常足	筑前古門	伊藤魚沖
時敏	播磨山崎	横井彦左衛門
守達	京	秋岡恭蔵
守良	伊勢松阪	小津新兵衛

守宗　越前敦賀　打它弁二郎
守城　播磨山崎　樽井宗右衛門
秋成　大阪　上田餘齋
秋風　尾藩　丹羽又太郎
秋郷　長崎　坂本朝治
秋平　播磨山崎　稻岡秋平
秋實　長崎　西田守輔
秋久　出雲完道　大坪對馬

秋子　江戸　岡部東平妻
袖子　伊豆熊阪　菊池某
親子　紀藩　長澤伴雄妻
實子　肥前小城　村崎朴也姉
主呼　伊澤
信友　若狹小濱藩　伴州五郎
信近　同　伴金左衛門
信亂　水戸藩　白井忠左衛門

信覺　太宰府　前御供屋坊
信正　播磨那波野　河本平八郎
信英　因幡藩　渡邉平三
信睦　同　渡邉平太
信成　播磨赤穂　久保世民
信古　江戸　佐藤次左衛門

濱臣　江戸　清水玄長

斐雄　江戸　菅沼頼母
靡之　摂津八田部　堀岩太郎
美石　三河吉田家士　中山弥助
美年　豊前小倉藩　長田
美卿　播磨加里屋　柳田喬助
美知　京　吉岡伊和助
美章　備前浅越　矢定新兵衛
美穂　遠江濱野　八木金兵衛

美隆　河内花園　岩崎清兵衛
美親　京　岩本孫四郎
美稲　伊与中和島　井上平馬

(七)

茂雄　伊豆熊坂　竹村平右衛門

(廿)

宣長　伊勢松阪　本居中衛
宣風　江戸　高井八十郎

成章　京　富士谷專右衛門
千蔭　江戸　加藤又左衛門
千尋　伊豫新居郡垣生村　菌部久右衛門
千春　遠江白須賀　増田次郎右衛門
千浦　村瀬
千廣　紀藩　伊達藤二郎
千穎　伊豫大洲家士　武田助右衛門
正典　江戸　久貝氏

正景　備前　補　富左衛門
正主　若山　和田九内
正胤　紀伊田辺　矢野平右衛門
正俊　長門萩藩　田中又蔵
正雄　若山　犬塚八兵衛
正雄　伊豆熊茂　竹村源五郎
正義　江戸　内藤氏
正明　堺　尾崎庄右衛門

正方　長門萩藩　弘平五郎
盛稔　長門萩藩　勝間田權左衛門
精芳　若山　岩崎百助
靜入　京　野村靜入
政誠　肥前島原　樂常寺
政壽　因幡藩　鈴木斧之輔
政富　備中宮内　蜀江東馬
政幹　美濃高須藩　末新甫

善水　紀伊日高郡江川　頼見雄次郎

雪臣　大阪　和本[illegible]

清[illegible]　安藝廣島藩　岡内清六郎

[illegible]海　駿河島田　大井日向

清澄　播磨那波浦　室井杏軒

清秋　京　長谷川次兵衛

清載　播磨山崎　井上甚十郎

清夫　若山　高内衛門七

清[illegible]　[illegible]里崎浦　[illegible]本孝十郎

笠因出雲守

淺井十兵衛

大塚林左衛門

編

三冊

二冊

二冊

三冊

詠史姓名録二十一